

コード No. 28047

**Anti-
α2, 6-Sialyltransferase (M2) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 µg

はじめに : アルツハイマー病の患者の病理組織像を特徴づけているのは、老人斑と神経原繊維変化の2つであり、老人斑の形成が先行するため、これが初期病変であると考えられています。老人斑はアミロイド β ペプチド (Aβ) の蓄積により形成されることが知られています。Aβ ペプチドはアミロイド前駆体タンパク質 (APP) が2種類のタンパク質分解酵素によって切断されて生じます。最初の切断を行なうのがβセクレターゼ (BACE1)であり、2番目の切断を行なうのがγセクレターゼです。これらの阻害剤はより安全なアルツハイマー治療薬になりうると考えられています。

近年、糖鎖の生合成に関わる糖転移酵素 (α2, 6-Sialyltransferase, α2, 6-シアル酸転移酵素) も BACE1 による切断を受けることが明らかにされました。同時に切断部位が同定され、結果としてラットでは切断型 α2, 6-シアル酸転移酵素 (E41 Form) を産生することが明らかにされました。

本製品は、切断の有無にかかわらずヒト、マウス、ラットの α2, 6-シアル酸転移酵素を検出可能とした精製抗体です。

免疫抗原 : α2, 6-シアル酸転移酵素の部分合成ペプチド
(NSQLVTTEKRFLKDSL) (ヒト、マウス、ラット共通部分)

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)

保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定
溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び使用方法 : ウェスタンブロッティング 1~5 µg/mL にて使用可能

特異性 : ヒト、マウス、ラットの α2, 6-シアル酸転移酵素に反応

参考文献 : 1. 北爪 しのぶ, 西道 隆臣, 橋本 康弘 アルツハイマー病 β セクレターゼの新しい基質溶液の発見 : β セクレターゼによる糖転移酵素の切断とその意義 : 生化学 第 74 巻 第 9 号 1180-1183 2002 年 9 月
2. Kitazume-Kawaguchi S, Dohmae N, Takio K, Tsuji S, Colley KJ. The relationship between ST6Gal I Golgi retention and its cleavage-secretion. Glycobiology. 1999 Dec;9 (12):1397-406.
3. Kitazume S, Tachida Y, Oka R, Shirotani K, Saido TC, Hashimoto Y. Alzheimer's beta-secretase, beta-site amyloid precursor protein-cleaving enzyme, is responsible for cleavage secretion of a Golgi-resident sialyltransferase. Proc Natl Acad Sci USA. 2001 Nov 20; 98 (24): 13554-9.
4. Kitazume S, Tachida Y, Oka R, Kotani N, Ogawa K, Suzuki M, Dohmae N, Takio K, Saido TC, Hashimoto Y. Characterization of alpha 2,6-sialyltransferase cleavage by Alzheimer's beta -secretase (BACE1). J Biol Chem. 2003 Apr 25; 278 (17): 14865-71.